

令和2年度 先駆的空き家対策東京モデル支援事業（チャレンジ型）

区市町村による空き家対策の横展開を図ることを目的として、標記事業により先駆的かつ高度なノウハウを要し、共通課題の解決を図る空き家対策事業

◆補助対象：事業に要する費用（施設整備等ハード事業を除く） ◆補助率：10/10 ◆補助限度額：10,000千円／区市町村

1 調布市

SNSを活用した空き家予備軍の可視化プロジェクト

SNSを活用し、多世代の活用を想定した「相談」と「学び」のメニューにより構成される空き家予防啓発アプリを官民連携で開発し、ウィズコロナ時代を見据えた新たなオンライン事業の構築を行う。

事業の成果：

- ・調布市空き家LINE公式アカウント「スマイのミライ教えてナビ！」の構築。
- ・市民参加型・多世代参加型事業の考案。
※ワークショップ「空き家っカソン」



今後の展開：

- ・アカウントコンテンツの充実と相談事業との連携強化
- ・広域連携によるツール活用の可能性検討
- ・市民参加型事業の継続実施による意識啓発など。

市民参加・多世代参加型 ワークショップ「空き家っカソン」



【利用手順の流れ】

◆友だち登録時の簡易アンケートで、基本情報（属性、課題、ニーズ等）を取得。
個人情報（本人同意確認後、個人を特定しない範囲で、調査及び分析を行い、アプリの機能更新、セグメント配信等で使い勝手を進化させ、利便性向上を図る。



【主な構成（「相談」と「学び」）】

